

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月25日

北海道教育委員会教育長 様

北海道白老東高等学校長 印

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 確かな学力の向上を目指し、授業改善など学習指導を充実する。 (2) 基本的生活習慣の確立と多様な生徒理解を目指し、教育相談を核とした生徒指導を充実する。 (3) 主体的に進路を選択することができるよう、組織的かつ計画的な進路指導を行う。 (4) 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した、体育・健康に関する指導を行う。 (5) 教員の心身の健康が保たれるよう、業務改善など働き方改革を進める。
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・生徒や地域の実態を踏まえた本校ならではの特色ある教育活動を展開している。 ・知識・技能など基礎学力習得に加え、思考力、判断力、表現力等の活用能力育成の工夫・改善に向けた研修に取り組んでいる。	・高大教育連携締結など地学協働の取組は大きい評価できる。今後も白老町の特徴を活かした教育活動の展開を期待する。 ・新しい視点での教育課程の編成が進められていることは評価できる。
改善方策	・基礎基本の定着を目指し、探究活動をさらに推し進める。 ・地域コーディネーターを最大限活用するとともにCLASSプロジェクトで培ったノウハウを総合的な探究の時間に十分に活用する。 ・ICTを用いた学習の研修に励み、更なる授業改善を図る。 ・評価の観点や評価基準の更なる明確化に取り組む。	
生徒指導	・地域社会から信頼される生徒の育成に取り組んでいる。 ・生徒の自主性を尊重した学級活動や生徒会活動が行われている。 ・ほっとの実施や個人面談などを活用して、個に応じたきめ細やかな生徒指導が行われている。	・自主性を尊重した活動が増えた点は評価できる。 ・引き続き自他の生命尊重に重きをおいた教育活動を展開してほしい。 ・生徒やHRの分析を行った後の、面談を更に進めてほしい。
改善方策	・スクールカウンセラーの協力のもと、自他の生命尊重のための取組を充実させる。 ・いじめ問題については、早期発見、早期解決に努めるとともに、組織的対応能力の向上を図る。 ・インクルーシブ教育への理解を深める生徒研修等を行う。 ・「ほっと」の実施はもちろんのこと、研修会等で活用について教職員の理解を深める。	
進路指導	・3年間を見通したキャリア教育計画に基づき、組織的・計画的な進路指導を行うことができた。 ・生徒のキャリア形成の観点から生き方、働き方を考えさせる取組を図ることができた。 ・進路目標実現100%を目指し、進路講習や個人面談など個に応じたきめ細やかな指導を行うことができた。	・3年間を見通したキャリア教育計画に基づき、組織的・計画的な進路指導が行われている。 ・保護者への進路に関する情報提供が十分に行われている。 ・進路目標実現100%に向け、進路講習や個人面談など個に応じたきめ細やかな指導が行われている。
改善方策	・進路希望実現のために、外部人材などの活用を強化し、生徒の進路意識を高める活動を充実させる。 ・キャリア形成のため、更なるインターシップの充実を図る。 ・進路指導室の資料の質の向上とともに生徒の利用を促し、早期からの進路意識を高める。	
保健安全指導	・生徒が健康で安全な生活が送られるよう学校環境美化等の整備に努めた。 ・事故、災害に対する教職員の役割分担は明確で適切なものとしている。	・生徒が健康で安全な生活が送られるよう学校環境美化等の整備が十分に行われている。 ・事故、災害に対する教職員の役割分担は明確で適切なものとなっている。
改善方策	・本年度より設置した生徒用個人ロッカーの活用を充実させる。 ・1日防災学校の更なる充実化を図る。	
公表方法	保護者・地域へ文書にて公表及び学校ホームページにて公表	